



みなさんこんにちは、中村なおあきです。平成24年5月発行の会報第1号では今の下諏訪町について掲載いたしました。続く第2号では「下諏訪町の魅力再発見」と題しまして発行いたします。ぜひご一読いただき、ご意見、ご感想等ございましたら、お気軽にお寄せください。よろしくお願い申し上げます。

～歴史と文化、人のぬくもりが伝わる町～

下諏訪って本当にいい町だなあ、と再認識するようになったのはいつ頃からだったのでしょうか。むかし、子どもの頃は当たり前すぎて普通だと思っていたわが町ですが、実は下諏訪にはこんなすごいもの・場所があったのだと気づき、意識の変化につながったのは「道歩く」ことがきっかけだったように思います。道は地域をつなぎ、文化をつなぎ、人々の心をつなぎます。

下諏訪は中山道と甲州街道の合流点としてたくさんの人やものが行き交い、交流することによってつくられてきました。そんな下諏訪の見どころはたくさんありますが、まちを歩いていると出会ういくつもの懐かしい風景も魅力のひとつだと思います。



今回、下諏訪のまちを実際に歩いて再発見した下諏訪町の魅力を紹介させていただきます。

中山道に沿って秋宮・春宮をつなぐ道筋にはその土地に暮らす人や往来した旅人たちのさまざまな思いが刻まれた史跡や石碑、町並みが今も残されています。高校では地歴部考古班だった私、道に息づく昔と今を楽しみながらのウォーキングに出かけてみました。

最初にめざしたのは諏訪大社下社秋宮です。秋宮周辺には貴重な資料等を展示した民俗資料館や儀象堂など興味深いスポットが点在し、秋宮に向かう上り坂も気にならないほどです。



そして秋宮から次なる目的地、春宮までの道もまた奥深い歴史、豊かな文化に彩られた場所になっています。春宮の拝殿は秋宮とともに国の重要文化財ですが、静かな境内に美しく映え、気持ちが引締まります。



さらに春宮の近くにある万治の石仏では魅力ある仏さまにほっと癒されます。



いつもは車で通り過ぎる道でも、歩いてみるといろんな発見があります。史跡の案内、お茶を飲み足を休めるような場所、地域の方々によるおもてなしが各所にあり、訪れる側と迎える側のふれあいを感じながらゆっくり散策を楽しむことができました。昔ながらの景観が守られているからこそ、住んでいる人も訪れる人も気持ちよく過ごせるのだと気づき、住む人の郷土への愛がこのまちの魅力の素だと感じました。せっかくの街道の美しい風情をこれから訪れる人にも楽しんでほしいですし、そのためには自分の住む地域の歴史を学び、町の良いところを守り伝えていきたいと思いました。

色々な場所を巡り、下諏訪町の良さを再確認して感じたのは、この美しい風景は、先人たちの努力が実らせた宝物であり、誇りをもってこの風景を失うことがないように守っていかねば、ということです。こんなにすばらしいまちに私たちは住んでいるのです。このまちに住んでいてよかったと思える地域、自分たちの地域に誇りをもてるようなまちづくりのために自分にできることは何かを考え取組んでいきたいと強く思いました。